

益田圏域プロジェクト全体評価及び成果指標の達成状況(平成25年度)

NO	プロジェクト	全体評価(総括・検証)	成果指標と達成率			
			項目名	H25目標	H25実績	達成率
益田-1	西いわみ農産物の産地力強化プロジェクト	<p>□時代の変化に即応した生産体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・益田市において、遊休ハウス、遊休柿園(開発地)の実態調査を行い、ハウス2件の流動化を図った。 ・吉賀町における有機農業塾の開催地を六日市地域として、町全体での有機農業の推進を図ることができた。 	遊休財産の継承件数(件/年)	5	6	120%
		<p>□有利販売に向けた販売企画力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぶどう、メロン、トマトにおいて、贈答販売の強化やメロンアイス、トマトカレーなどの加工品開発、収穫体験ツアー等、積極的な販売促進活動で販売額の維持につなげることができた。 ・津和野町、吉賀町においては、産直野菜の推進について、コーディネーターと連携し、各種研修会の実施や部会の設置、まるごと津和野マルシェ等により、関係者や生産者の販売促進意欲の向上に繋がった。 	主要品目の販売額(百万円)	1,232	1,207	98%
		<p>□持続的産地づくりに向けた担い手の育成・確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぶどう部会青年部は贈答商品の開発など積極的な活動が行われている。 ・施設野菜青年組織は設立までは至らないものの、メロン生産者を中心に勉強会を開催することとした。 ・メロン栽培の高齢者サポート体制整備確立の目処が立った。 	産地を担う新規就農者の確保数(名/年)	3	6	200%
益田-2	伸びゆく石西地域の肉用牛プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・生産履歴情報の添付の推進については、購買者ニーズをアンケートにより把握し、課題抽出を行った。それをうけ記帳農家と意見交換会を開催し、今後の方向性について検討した。記帳農家率100%を目指し拡大を図る。また、投薬が多い記帳農家に対して、関係機関で対策チームを組み、改善に取り組む。 	繁殖雌牛頭数(頭)	1,468	1,552	106%
		<ul style="list-style-type: none"> ・WCS用稲の栽培面積は、圃場整備や他の新規需要米への変更により減少し、さらに豪雨被害により収穫面積が減少した。津和野地域で新たにコントラクター立ち上げの意向があり、面積拡大に向けて、市町と連携し対策を講じる必要がある。 	WCS用稲栽培面積(ha)	33	29	88%
		<ul style="list-style-type: none"> ・堆肥流通対策については、益田市堆肥センターについて飼養頭数の減少により堆肥不足が懸念されていたが、搬入農家が1戸増加し今後、堆肥供給量が増加することが期待される。 	(堆肥センター)堆肥供給量(t)	3,866	3,334	86%